



森ボラ 通信

第164号 2016年1月20日発行

NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <http://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6 ラルズビル3F

Tel. (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

トピックス



北海道森林ボランティア協会
理事長 横山 清

明けましておめでとうございます。

大きな希望と夢を持って環境保全や平和で健康な生活ができる社会を目指して、地味で根気と相当のエネルギーを必要とする仕事を黙々と熟し続けている皆様に深甚の敬意を表すると共に本年も健康第一を基本にして変わらぬ御活躍を祈念いたします。

新年、早々に株価の5日間続落などアベノミクス新・三本の矢も行方が心配ですが、私達のように自主的に社会事業に参加し営利を目的としない活動に携わる者としては、短期的な経済現象に一喜一憂することなく淡々と自分達も次の世代も安心して暮らせる地球環境づくりに邁進しましょう。

森ボラが発足したときに植えられた樹木は、早くも立派な木立を形成し、いまずぐのリターンの欲望が渦巻く現代社会の近視眼的な考えに反省を促しているようです。

私達が大切にしている協調的な活動や個人の献身在、長期的な公益に寄与していることを人々に理解し参加して頂くことも今年からの当協会の課題です。今年も頑張りましょう。

活動報告

◆新年の活動開始

1月7日(木)に澄川都市環境林にて、今年活動を開始しました。

現地の積雪は40~50cmと例年の半分程、天候は晴れ、無風と絶好の活動日和に仲間21名が集まりました。管理地区の小屋周辺や通路の除雪に一汗を流した後に朝礼です。お正月の食べ、飲み疲れを忘れるように皆の笑顔がステキです。



最初に酒井代表を講師に、昨年末の机上安全管理講習のおさらいと

我々の活動に沿った注意点の確認をしました。その後にA-4区に移動して現場での伐採作業の安全・確実な作業の進め方について、実際の立木を使って講習を実施しました。伐木時の安全離隔距離は樹高の2倍、逃げる方向

は原則として伐採木より高い位置になど初歩的ですが重要なポイントです。伐採した樹木はマキ、ホダギ、板・杭材に利用する以外は、森林の肥料として活用します。

午後からは今後の予定活動地E地区の状況確認を兼ねて見廻りを行って解散しました。今年も元気に安全に活動しましょう！（文・樞樺）

◆林業災害安全講習に参加して

12月16日北海道森と緑の会の寫田様、林災防の増田様を講師に作業安全のセミナーがありました。満員の会場で林業災害の現状や事故防止のお話を聞きました。

四季を通じ森林内での活動が多い我々にとり、事故は常に身近なものであり一旦事故に遭遇すれば、本人のみならず家族や組織に重い負担や悲しい生活の変化を強いることとなります。『事故防止』分かっていても気持ちが先走りして忘れがちになります。



『ハインリッヒの法則』を知りました。労働災害で大きな事故は小さな事故の積み重ねによるものでその比率は1:29:300になるそうです。経験が過信となり大丈夫と言う甘い判断が油断を生じて事故につながる事は身に覚えのあることです。これを逆用すれば『成功の法則』にもなりそうです。

林内作業は足場が悪く転倒の危険性も高く、野生動物や天候による被害もあります。普段から健康管理、チームワーク、作業点検を心掛け事故の無い活動にしたいと思えます。不幸にして事故発生の際はすみやかに対応しなければなりません。安全講習は地味で敬遠されがちですが楽しい活動には不可欠なことです。（文・加藤）



◆澄川南小学校3年生第4回自然観察会～炭焼き体験

12月8日（火）澄川南小学校3年生の第4回自然観察会（炭焼き体験）が澄川環境林で行われました。天気が悪く延び延びになっていましたが、青く澄みわたった晴天のもと、3名の先生に引率された48名の児童が、前日付けられた



雪道を辿り、小屋の前に作られた3ヶ所の焚火の前に集まりました。

通常、炭焼きは2日がかかりますが、今回はより簡単、短時間でできる化粧炭（花炭）作りへの挑戦でした。まず各人が持ってきた缶の蓋にガ

ス抜き用の穴を2～3か所開けることから始まり
ました。たき火への出し入れは火傷の心配がある
ので協会員(3×3名)の指導・実演で、松かさなど
を詰めた缶を赤々と燃えた熾火の上に置き、穴か
ら煙が出なくなるまで焼いて出来上がりです。雪
で十分に冷やし、恐る恐る蓋を開けると見事に化
粧炭が。また紙やティッシュ等の薄いものでも灰に
ならず炭になることを知るなど驚きの連続で約1
時間、十分に堪能したことと思います。大事に持
ち帰られた化粧炭は、子供たちの話に花を咲かせ
たことでしょう。(文・和田)



◆2015年度CGC水明郷の森・烏柵舞の森活動報告

2009年に水明郷の森は災害に強い針広混交林を目指して植栽事業が始まり7年目の今年で一連の作業は終わりました。植栽本数は9,711本(針葉樹:広葉樹=6,053:3,658=62%:38%)でした。

烏柵舞の森は今年で3年間の植栽活動は終わりましたが、今後は人力地区の整備と下草刈り等の育林管理に入ります。10月10日北海道CGCみどりところの基金の谷口事務局長から最終検収を受け2015年度の活動を終えましたので以下に報告します。

水明郷の森

4月に昨年大雨で発生した雨裂の修復作業に始まり、5月には広葉樹列10小班の生存調査を実施した結果5小班で生存率50%を切っていました。

下草刈りは4日間行い特に植栽列の両脇の覆い被さったウラジロイチゴを重点的に刈りました。人手による地拵地区(No.3,4)オッパイ山は自生木及び植栽木も順調に生育していることを確認しました。機械地拵植栽区のトドマツは個体差こそありますが順調に生長しています。広葉樹はヤチダモ以外ミズナラ、ハルニレ、イタヤカエデは雪害、獣害、火山灰地の貧土等の影響で生長の遅れが目立っています。今後は広葉樹列では下草刈り等の3年位育林管理が必要と考えています。

烏柵舞の森

5月の人力地区(No.1～3)の整備に始まり、4日間の下草刈りと生育調査ではアカエゾマツ、広葉樹とも順調に生長しています。駐車場跡にアカエゾマツと広葉樹を植栽しました。

人力地区のNo.3(2～6,8～10)の直播列は全く発芽が見られず調査結果920本程の補植が必要である事をみどりところの基金に報告しました。昨年中止となったオイスカ・ユネスコ合同の植樹祭ではNo.6小班にアカエゾマツ711本を植栽しました。残ったアカエゾ377本は協会員が植栽しました。No.3とNo.4の一部に未植栽列を残し植栽計画は終わりました。(文・事務局)

《活動内容と参加人数》

作業月	場所	作業内容	日数	参加人数
5月	・水明郷の森 ・烏柵舞の森	・雨裂補修・広葉樹生存調査 ・人力地区整備	3	44
6月	・水明郷の森 ・烏柵舞の森	・下草刈り ・下草刈り	4	66
8月	・水明郷の森 ・烏柵舞の森	・下草刈り ・下草刈り・未植栽地植栽	4	48
9月	・烏柵舞の森	・人力地区整備・駐車場跡地植栽	2	30
10月	・烏柵舞の森	・オイスカ、ユネスコ合同植樹祭	2	32
計			15	220

■今月の幹事会

出席者：市山・大窪・荻田・樫棒・加藤・清澤・酒井・佐野・高野・釣井・西野(榎)・矢澤・和田

1. 2016 年度新年に当たって・・・森林保全の実践と次世代の子供たちへの啓発活動の推進
2. 2016 年 2 月、3 月スケジュール・・・幹事会 2 月 4 日 (金)
3. 親子森林教室 2016 年 4 月に向けての準備状況の確認・・・佐野さん、三橋さんがメンバーに日程、準備品の確認。近隣の小学校で参加者の掘り起し
4. 森林・山林多面的発揮機能対策進行状況・・・交付金の変更で整備面積 16.6ha に変更
多面活動事例報告会 (2/18 かでの 2,7) に会員の出席要請
5. 澄川駐車場の除雪の検討・・・今後対応案を検討して行く
6. H27 年度森づくり活動発表会 (石狩ふれあい推進センター)・・・PTT 作成
7. 委員会報告 広報委員会・・・理事長新年のご挨拶 HP トップに掲載
業務委員会・・・2016 年度活動スケジュールは 2 月の幹事会で報告
助成委員会・・・28 年度子どもゆめ基金助成申請は 2 次募集の 5 月申請予定
冬期セミナーの件・・・
2 月 17 日 (水) ・札幌環境局 畠山亜希子氏 「わたしたちのくらしと生物多様性」
・樫棒典夫さん 「森ボラ協議会の活動報告」
8. その他
 - ・忘年会会計報告
 - ・高額備品購入の件・・・チェーンソー用チャップス購入
 - ・12 月会計報告

以上

◆『森ボラ図書コーナー』図書の案内

今回は、「森林・山村多面的機能発揮対策事業」を活用して購入した図書を紹介します。閲覧、貸出し、今後の購入希望図書がありましたら市山、樫棒まで連絡をお願いします。(文・樫棒)

森ボラ図書コーナー蔵書

番号	図書名	著者	発行所	価格(円)	購入年月日
29	新版『北海道の歴史・上』	長沼 孝、越田賢一郎、榎森 進、 田端 宏、池田貴夫、三浦泰之	北海道新聞社	1,900	2015 年 12 月 11 日
30	新版『北海道の歴史・下』	岡 秀志、桑原真人、大庭幸生、 高橋昭夫	北海道新聞社	1,800	同上
31	『絵でわかる・樹木の知識』	堀 大才	(株)講談社	2,200	同上

■ 活動履歴

月日	行事・活動地	参加数	活動内容
12 月 14 日 (月)	澄川	17	仕事納め
12 月 16 日 (水)	札幌エルプラザ	23	セミナー：安全講習会 ・北海道森と緑の会/専務理事 鳥田康之氏 ・林防災/安全対策委員 増田 勉氏
1 月 7 日 (木)	澄川	22	仕事始め・現場で伐採作業の安全講習会
1 月 8 日 (金)	ラルズビル	13	定期幹事会
1 月 13 日 (水)	札幌エルプラザ	22	セミナー：真駒内芸術の森緑の回廊 事務局長 新田啓子氏「オンドリがいたる森」 会員例会：酒井会員/「郷土史すみかわ」
1 月 15 日 (金)	澄川	13	A-4 間伐作業